

くらき永田保育園便り 7月号

7月の予定		
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	七夕の会
8	水	
9	木	
10	金	お泊り会
11	土	布団乾燥
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	久保先生のわらべうた
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

緊急事態宣言が解除され一カ月が経過しました。保育園も徐々に日常を取り戻し、お泊り会のような行事や保護者の皆さんから要望が多く寄せられていた保育参加・参観も再開します。今年度は春の懇談会なども出来なかったため、保護者の皆さんと保育園での様子など話し合えることを職員としても楽しみにしています。また、保育園では子どもたちの楽しい時間を提供していくことも大切ですが、それ以上に「見通しの立つ生活」を取り戻すことが大事だと考えています。子ども自身が見通しの立つ当たり前の毎日があるからこそ、安心して自分らしい主体的な行動で過ごせると思うからです。

7月10日はお泊り会です

年長さんにとって夏の最大のイベント「お泊り会」が近づいてきました。今年のテーマは目に見えないもの。そう「オバケ」です。童話「森おばけ」を読んだ子どもたちは、自分たちがオバケに成りすまし、みんなを驚かしてみようと密かに企んでいるようです。さてさて、その作戦はうまくいくのか？それとも保育園で毎年起こる不思議なファンタジーの出来事が起こるのか・・・一生忘れられない夏の一日を過ごすために職員もニヤニヤしながら頭を悩ましています。

保育園からのお願い・お知らせ

7月8月は、職員にもリフレッシュしてもらいたいため夏季休暇などを積極的取得してもらいたいと考えています。また、夏は保育士にとって貴重な研修の時期でもあり保育に支障が無いようにシフトを組みスキルアップに努めたいと考えています。事前に提出していただいた保育時間予定表に記入できなかった職場のお休みや、家族の旅行の日程などの変更点をこまめに教えていただければ保育士の働き方改善につながりますのでご協力お願いします。

8月28日（金）は夏祭りごっこです

毎年夏には保護者や地域の皆さんにも協力してもらい「夕涼み会」を実施していました。子どもたちの浴衣姿や甚平が好評で子どもたちにも大人気の夏のイベントでしたが、今年度は三密を避ける目的もあり、いきいき組みさんが主体となって「夏祭りごっこ」というスタイルでお祭りを楽しみたいと準備を進めています。当日はプロの民謡歌手、池上朝子さんが登場し、生歌の「お米音頭」で盆踊りを楽しむという特別な時間も用意しています。



遊言育係

保育士のうたに合わせて仕草を真似たり、拍に合わせて歩いたり、子どもたち同士でも楽しんでいるわらべうた。

3ヵ月、待ちに待った久保先生のわらべうたに参加した子どもたちは、一斉に久保先生の傍まで寄って行っては笑顔を見せて楽しんでいました。

また、今月には職員向けのわらべうた研修もあり、子どもたちだけでなく保育士もワクワクしています。

ぜひ、ご家庭でも子どもたちが好きなわらべうたを一緒にうたいながら楽しんでみてはいかがでしょうか。

園のホームページからも動画でわらべうたの楽しみ方が観られます！

～クラスの様子をお伝えします～



今月のテーマ 『食事』

にこにこ

食事の時間が大好きなにこにこ組の子どもたち。以前は保育士と食事のスペースに行くのを嫌がって泣いたり、中々ミルクを飲まなかったりしていた時期もありました。どんな姿勢が飲みやすいかな、家ではどうしているのかな？と試行錯誤の日々でした。少しずつ保育士と信頼関係が出来てきて「ご飯を食べよう」と声を掛けると一緒に歩いて食事スペースに向かったり、“抱っこ”と手を伸ばしてくれたりするようになりました。食事中には「あっ！」と指を差して食べたい食材を教えてください、「おいしいー」と頬に手を当てたりする姿があります！今後も楽しみながら食事をしていきたいと思っています。

よちよち

よちよち組の食事に慣れてきた子どもたち。食事の時にはどの先生と、どのお友だちと一緒に食事を摂る、という先の見通しが持てるようになってきました。4月初旬の頃は自分の番が早く来ないかと少しドキドキしながら待っていた子も見られましたが、自分の順番が分かってきた最近では食事に呼ばれるまでお部屋で目いっぱい遊んでいます。また自分で食べたい！という気持ちが強くなってくるのもよちよちさんの特徴。4月から比べると、真っすぐとスプーンで取り込むことが出来たり、落ち着いて自分の椅子で食事が摂れるようになったりと、成長しているなど感じられます。今後も食事を通して色々な成長が見られるよちよちさんに目が離せません！

給食室から

先日、異年齢の子どもたちが梅もぎに行き、とってきた梅で作った、毎年恒例の特製梅ジュースが、もうすぐ完成するようです。

未熟な梅には、中毒を引き起こす成分が含まれ、そのまま食べるのは危険ですが、梅干しや梅酒・梅ジュースなどに加工すると、中毒を起こす成分は変化するので心配いりません。

梅の独特のすっぱさは、「クエン酸」や「リンゴ酸」などによるもので、疲労回復や食欲増進に効果があります。梅雨のたるさを感じたり、暑さなどで疲れを感じやすいこの時期に、とても適していますね！

まもなく開店する梅ジュース屋さんをお楽しみに・・・。
今年の給食室は、例年よりも、子どもたちとの関わりが少ないのですが、直接ではなくても、様々な場面で、どう関わられるかを考え、食の楽しさを伝えていきたいと思っています。



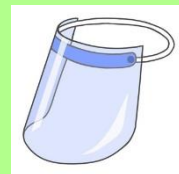
すくすく

すくすく組の子どもたちは、食事の前に自分のコップを持ち、ワクワクしながら席につくと「今日の給食なに？」とメニュー名や素材を聞かれることが増えました。覚えたメニューはお友達に教えてあげて、食べることを楽しみにしています。食事中は「このくらい？」と一口量を保育士に聞いたり「ピカピカになったよ！」とお皿の中を綺麗にできた喜びを伝えてくれる姿が増えました。今まで苦手な食材を口にしようとしなかった子も「見ててね、ほら、食べたよ！」と意欲的にチャレンジしています。また、すくすく組では、テラスにキュウリ、トマト、シソ、ピーマンを育てています。毎日の野菜の水やりを楽しみに水やり当番を行っています。野菜を育てることを通して、どんどん野菜のことが好きになってきています。

異年齢

お当番の仕事の1つは給食の先生に「今日の給食」を聞きに行くことです。その際、食材についてクイズが出され、お当番の子はそれを朝の集まりで他の友だちに出題してくれます。3つの写真の中から正解の食材を当てるのですが、いきいき組はどの写真が何の食材なのかをすぐに当ててしまうことが多く、保育士も驚いています！また、のびのび組はお当番さんが教えてくれた給食を「今日の給食は～」と復唱することを楽しんでいて、遊びの中で友だちと一緒に言い笑い合う姿もありました。わくわく組はお当番活動にも慣れ、みんなの前で自信を持って言えるようになってきています。
お泊まり会後からいきいき組は食事の時に配膳のお手伝いが始まるので楽しみに！

手作り フェイスシールド



ウイルス対策として、食事介助する保育者はマスクを着用していますが、これだと表情が見えず子どもとのやりとりが難しくなっていました。

そこで、フェイスシールドを手作りしてみることに。K先生の発案でラミネートフィルムで作成。早速使ってみると子どもたちの反応も上々。特に、にこにこ組の子どもたちは表情も増え、保育者の口の動きを真似することで、食材をよく噛む姿が増えました。

新生活様式を取り入れた生活の中でも、制限するばかりではなく、楽しく過ごす工夫をしていきたいですね！